

東国千年の都

～前橋・高崎の古代遺産スペシャル

会期 二月十六日～三月十六日

会場 かがみつけの里博物館(井出町)

かがみつけの里博物館は、「東国千年の都」前橋・高崎の古代遺産スペシャル」を開催します。

この特別展は、前橋・高崎両市で開催した「東国千年の都」古墳から寺院へ」のスペシャル版として、両会場で展示できなかつた国指定の重要文化



多くの来場者でにぎわった高崎会場

財、^{ひよろしつちやう}「緑釉陶器水注、壺、皿、銅鏡」^{さんのおほいじ}山王廃寺(前橋市総社町)出土、「舞台1号墳(前橋市荒子町)出土品」「八幡観音塚古墳(八幡町)出土品」や、複製品の展示だった^{こんどうせいしやく}「金銅製飾履」^{しんごうせいしやく}下芝谷ツ古墳(箕郷町下芝)出土の实物を展示します。

さらに追加資料を交え

ながら、両市から出土した数多くの遺物とともに、五世紀から八世紀にかけて、「上野国」が成立する様子を追います。

問い合わせは、かがみつけの里博物館(373・8880)へ。

開館時間 午前9時30分～午後5時(火曜日休館、入館は閉館の30分前まで) 観覧料 一般二百円、高・大学生百円、六十五歳以上・中学生以下無料



群馬県立歴史博物館蔵 写真提供 前橋市教育委員会

「緑釉陶器水注、壺、皿」

観光やまちづくりで連携

金沢市と友好交流都市協定を結びました。

市は、金沢市と友好交流都市協定を結ぶことになり、二月六日、松浦市長が同市を訪れ、山出保金沢市長と協定書に調印しました。

現在、本市から金沢市へは鉄道で約三時間半かかりますが、二〇一四年までに、北陸新幹線が金沢まで延伸されると、約一時間半で結ばれます。

ます。具体的には、観光キャンペーンや特産品の販売などが計画されています。金沢市は加賀百万石の城下町として栄え、人口四十六万人



協定締結を記念してだるまに目を入れる山出金沢市長(右)と松浦市長

これを見据え、両市間の交流を深めようと、昨年十二月二十七日、山出金沢市長が本市を訪れ、松浦市長との間で、友好交流都市協定締結に関する覚書が取り交わされました。同協定では、両市の市民間・都市間交流のための協力 誘客事業の連携 まちづくりに関する共同研究などがうたわれている。

本市が国内の都市と友好交流協定を結ぶのは、初めてです。問い合わせは、企画調整課 321・1202へ。

プロジェクト6000 はにわ 埴輪作りの参加者募集

1,500年前に榛名山麓を治めた王の墓「国史跡保渡田八幡塚古墳」。古墳には、円筒埴輪が幾重にも列をなして約6,000本並んでいました。その円筒埴輪を現代人の手で作り上げる、壮大なプロジェクトに参加してみませんか。



あなたも1/6000の埴輪を作りませんか。

期日 = 毎週土・日曜日(第3日曜りと第5土・日曜日を除く) 時間 = 午前9時～午後3時 定員 = 各日先着20人 費用 = 無料 申し込み = 電話でかがみつけの里博物館(373-8880)へ